

第7回研究会(顧第140回)のご案内

今回は、年間研究テーマ「イノベーションと地域創生」のもと、「未踏領域への挑戦について」を企画しました。皆様方多数のご参加を期待します。

趣 旨：① 大阪大学は、2006年に Industry on Campus というユニークな産学連携制度を創成し、国立大学法人のさきがけとしてオープンイノベーションを推進している。

Hitz 協働研究所では阪大産学連携制度を用いたバイオポリマー（トチュウエラストマー）の開発から事業化までを一気通貫として実施している。本会では、この取り組み事例を紹介し、小規模な基礎研究から始まり、複数の国家プロジェクトによる研究開発を通じて、段階的に産業化を進めて来たイノベーションと未踏領域への挑戦を紹介する。

② 電池は使い切りの一次電池と、充電して繰り返す二次電池（蓄電池）があります。さらに、燃料電池、太陽電池、生物電池などもありますが、今回は特に、二次電池の概要と期待されている今後の電池について説明します。電池には小型で、軽量のものが要望されます。このため、現在はリチウムイオン電池が、数量的にも金額的にも最も生産・使用されています。特に電気自動車用として大きく使用されると予測されています。しかしながら、一部のものは安全性に課題があり、次世代の電池として全固体電池等が期待されています。今回はこれら次世代電池、充電、制御なども紹介致します。

講演会プログラム：

14:10～15:10 「大阪大学産学連携制度研究を用いたバイオポリマーの開発」

大阪大学大学院工学研究科 特任教授 Hitz 協働研究所 所長 中澤 慶久 氏

15:20～16:20 「電池開発の現状と課題」

(一社)大阪府産業支援型NPO協議会エネルギー専門部 部会長 高田 寛治 氏

16:2～17:00 総合討論 17:00～18:00 交流会 会場 2F/207号室

開催日：平成31年3月19日(火) 14:00～18:00

会 場：大阪電気通信大学駅前キャンパス(京阪寝屋川市駅3分) 6F/大教室

参加費：1,000円(交流会費とも)当日、会場にて頂きます。

参加申込： [第7回研究会]と明記の上、お名前、所属、及び交流会参加の有無を下記のE-mail またはWeb サイトからお申し込み下さい。

(申込先)：研究・イノベーション学会関西支部

副支部長(事務局の長) 西原一嘉、E-mail:nisihara@osakac.ac.jp